（別紙様式４）

平成27年10月1日現在

職業実践専門課程の基本情報について

学　校　名	設置認可年月日	校 長 名	所　　在　　地
専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ	平成6年3月23日	椎葉　小夜子	〒810-0014　福岡県福岡市中央区平尾1-13-32 （電話）092-522-3135
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所　　在　　地
学校法人西鉄学園	昭和37年2月27日	竹島　和幸	〒816-0922　福岡県大野城市山田3-12-1 （電話）092-586-2480

目的	安全運航に関する知識など、鉄道に関連する知識や接客サービス能力を身につけ、鉄道運転士・車掌・駅員・鉄道客室乗務員として活躍でき、さらに規律を守りストレス耐性のある人材を育成する。

分野	課程名	学科名	修業年限（昼、夜別）	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
商業実務	商業実務専門課程	鉄道科	2年（昼）	69　単位	平成25年文部科学大臣告示第2号	―

教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	53　単位	19　単位	単位	2　単位	4　単位

生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１００　人	８３　人	３　人	７　人	１０　人

学期制度	■前期：4/3～7/17 ■後期：9/24～1/29	成績評価	■成績表（㊒・無） ■成績評価の基準・方法について 期末試験もしくは実技試験。A:80%以上、B:60%以上、C:50%以上、D:50%未満
長期休み	■学年始め：4/1～4/2 ■夏　　季：7/18～9/23 ■冬　　季：12/17～1/13 ■学 年 末：1/30～3/31	卒業・進級条件	進級・卒業判断時に所定の単位以上取得し、期日までに学費を納入すること。
生徒指導	■クラス担任制（㊒・無） ■長期欠席者への指導等の対応 電話、対面での面談	課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動（㊒・無）
就職等の状況	■主な就職先、業界等 旅行、鉄道業界　他 ■就職率※1　100　% ■卒業者に占める就職者の割合※2 97.7 % ■その他（任意） （平成26年度卒業者に関する平成27年3月時点の情報）	主な資格・検定	国内旅行業務取扱管理者 サービス接遇検定 サービス介助士2級　他

中途退学の現状	■中途退学者　　５名　　■中退率　６．３％ 平成２６年４月１日在学者　８０名（平成２６年４月入学者を含む） 平成２７年３月３１日在学者　７５名（平成２７年３月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 意欲減退２、病気治療、出席不足、除籍 ■中退防止のための取組 担任、学科長との面談、スクールカウンセラーによる対応
ホームページ	URL：www.ibc.ac.jp/

※１「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（１年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※２「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料，賃金，報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが，家事手伝い，臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

１．教育課程の編成

（教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針）

教育の質の保証及び改善をするため、教育活動の状況に関する評価を行い、業界の要請を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

（教育課程編成委員会等の全委員の名簿）　　平成 27 年 10 月 1 日現在

名　前	所　　属
室井 高	合同会社博多ホールディング　ホテルセントラーザ博多　　総支配人
梅野 一生喜	株式会社西鉄シティホテル　婚礼部　部長
角谷 英彦	九州旅客鉄道株式会社　旅行事業本部　企画課　課長
押方 智嗣	九州旅客鉄道株式会社　旅行事業本部　企画課　課長代理
清中 いずみ	株式会社ＪＡＬスカイ九州　総務業務部　担当次長
河野 浩一	株式会社ＪＡＬグランドサービス九州　ﾗﾝﾌﾟｻｰﾋﾞｽ部　ﾗﾝﾌﾟｻｰﾋﾞｽ３課　課長
古川　徹	JR 九州鉄道営業株式会社　常務取締役
山方 浩	公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー　事務局長
前田 隆博	公益財団法人産業雇用安定センター　福岡事務所　参与
伊藤　潤	教務部長（鉄道科学科長兼）
田才　亜紀子	学科長（ホテル科･ブライダル科）
藤田　祐子	学科長（トラベル科）
久保田　博子	学科長（エアライン科・エアポート科）

（開催日時）

第１回　平成 27 年 5 月 25 日　10：00～12：10
第２回　平成 27 年 9 月 30 日　10：00～12：10

２．主な実習・演習等

（実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針）

後継者育成の一環として技術等を学ぶ学生に実務の経験を積極的に提供し、受入の実績がある企業を選定する。学校が教育している技術等の習得が可能でかつ後継者の育成に力をそそぐ企業への新規開拓も実施している。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
企業実習Ⅰ、Ⅱ	授業で学習した理論と実技の一体化を目的とし、社会人としての厳しさ、基本的な業界の知識、サービスや技術の習得を目的とする。	西鉄ｽﾃｰｼｮﾝｻｰﾋﾞｽ、JR 九州鉄道営業、西日本旅客鉄道、平成筑豊鉄道、筑豊電気鉄道、くま川鉄道、松浦鉄道、南阿蘇鉄道、ｼﾞｪｲｱｰﾙ東海ﾊﾟｯｾﾝｼﾞｬｰｽﾞ、江ノ島電鉄　総数１１社

３．教員の研修等

（教員の研修等の基本方針）

職務の遂行に必要な知識及び技能等を習得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図る。

４．学校関係者評価

（学校関係者評価委員会の全委員の名簿）　　平成 27 年 10 月 1 日現在

名　前	所　　属
室井　高	合同会社博多ホールディング　ホテルセントラーザ博多　総支配人
梅野　一生喜	株式会社西鉄シティホテル　婚礼部　部長
角谷　英彦	九州旅客鉄道株式会社　旅行事業本部　企画課　課長
押方　智嗣	九州旅客鉄道株式会社　旅行事業本部　企画課　課長代理
清中　いずみ	株式会社ＪＡＬスカイ九州　総務業務部　担当次長
河野 浩一	株式会社ＪＡＬグランドサービス九州　ﾗﾝﾌﾟｻｰﾋﾞｽ部　ﾗﾝﾌﾟｻｰﾋﾞｽ３課課長
古川　徹	JR 九州鉄道営業株式会社　常務取締役
山方　浩	公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー　事務局長
前田　隆博	公益財団法人産業雇用安定センター　福岡事務所　参与
井上　武之	篠栗町教育委員長（高等学校校長経験者）
松藤　大助	日本郵便株式会社　竹下郵便局　局長（卒業生）
椎葉　小夜子	理事　校長
井上　透	総務部長
伊藤　潤	教務部長（鉄道科学科長兼）
田才　亜紀子	ホテル科・ブライダル科　学科長
藤田　祐子	トラベル科　学科長
久保田　博子	エアライン科・エアポート科　学科長

（学校関係者評価結果の公表方法）

URL：www.ibc.ac.jp/

５．情報提供

（情報提供の方法）

URL：www.ibc.ac.jp/

授業科目等の概要

（商業実務専門課程鉄道科）平成 27 年度											
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			業法 （国内管理者）	国内旅行業務取扱管理者試験 業法科目の習得	1 前	24	1	○		
○			約款 （国内管理者）	国内旅行業務取扱管理者試験 約款科目の習得	1 前	24	1	○		
○			国内運賃・料金 Ⅰ（国内管理者）	国内旅行業務取扱管理者試験 国内実務科目の習得	1 前	24	1	○		
○			国内運賃・料金 Ⅱ（国内管理者）	国内旅行業務取扱管理者試験 国内実務科目の習得	1 前	24	1	○		
○			国内観光地理Ⅰ （国内管理者）	国内旅行業務取扱管理者試験 国内実務科目の習得	1 前	24	1	○		
○			国内観光地理Ⅱ （国内管理者）	国内旅行業務取扱管理者試験 国内実務科目の習得	1 前	24	1	○		
○			国内観光地理	国内の観光地理を習得	1 後	24	1	○		
○			鉄道概論Ⅰ	鉄道の基本と仕組みを習得	1 通	48	2	○		
○			鉄道係員	鉄道係員の役割と責任、心構えについて習得	1 通	48	2	○		

授業科目等の概要

（商業実務専門課程鉄道科）平成 27 年度											
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			鉄道サービス（パーサー）	駅・車内で必要な接客スキルを習得	1後	24	1	○	△	
○			時刻表	ＪＲ時刻表の見方・使用スキルを習得	1通	48	2	△	○	
○			鉄道業界研究	鉄道会社への就職を目標とし、鉄道業界の実態を知る	1通	48	2	○		
○			鉄道車両Ⅰ（電車）	鉄道車両（電車）の仕組みと運転理論を習得	1後	24	1	○		
○			鉄道駅実務	駅係員の業務知識と接客について習得する	1後	24	1	○		
○			英検対策	実用英語技能検定の合格	1通	48	2	○		
○			サービス介助士	サービス介助士 2 級の取得	1後	24	1	○	△	
○			ペン字	書検を通して書式を学び、美しい文字を書くためのポイントを習得	1後	24	1	△	○	
○			ビジネス検定対策	ビジネス能力検定試験合格を目指す	1通	48	2	○		

授業科目等の概要

（商業実務専門課程鉄道科）平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			就職活動講座	就職活動の流れを知り、自己分析を行い、就職できる力をつける	1通	48	2	○		
○			就職筆記対策Ⅰ	就職試験における筆記試験に合格できる力を習得する	1通	48	2	○		
○			就職筆記対策Ⅱ	就職試験における筆記試験に合格できる力を習得する	1通	48	2	○		
○			面接対策	就職試験における面接試験に合格できる力を習得する	1後	24	1	△	○	
○			コンピューター	Excel及びWordの基本操作を習得する	1通	48	2		○	
○			LHR	学校生活における調和と自己啓発を図る	1通	48	2		○	
○			鉄道基礎	鉄道用語など基礎基本と仕組みについて学ぶ	1通	48	2	○		
○			国内管理者セミナーⅠ	国内旅行業務取扱管理者試験合格のため知識を習得する	1後	24	1	○		
○			国内管理者セミナーⅡ	国内旅行業務取扱管理者試験合格のため知識を習得する	1後	24	1	○		

授業科目等の概要

（商業実務専門課程鉄道科）平成 27 年度											
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			国内管理者セミナーⅢ	国内旅行業務取扱管理者試験合格のため知識を習得する	1後	24	1	○		
○			国内管理者セミナーⅣ	国内旅行業務取扱管理者試験合格のため知識を習得する	1後	24	1	○		
○			サービス介助士2級 実技教習	サービス介助士2級を取得するための実技演習	1後	16	1	○	△	
○			行事Ⅰ	行事によって調和と自己啓発を図る （初年次教育Ⅰ・Ⅱ、新入生合宿 1・2、スポーツデー、業界見学1）	1前	36	1	△	△	○
○			行事Ⅱ	行事によって調和と自己啓発を図る （適性検査、業界見学2、スピーチコンテスト、着こなし講座・ビューティーレッスン、就職模擬面接・模擬試験、就職ガイダンス）	1後	36	1	△	△	○
○			鉄道概論Ⅱ	列車運転に関わる数値でみる鉄道を習得	2前	24	1	○		
○			鉄道概論Ⅲ	ダイヤグラムを作成し運転操作基本を習得	2前	24	1	○		
○			鉄道車両Ⅱ（電車）	鉄道車両（電車）システムの基礎知識を習得	2前	24	1	○		
○			鉄道車両Ⅲ（電車）	鉄道車両（電車）システムの基礎知識と運転理論を習得	2前	24	1	○		

授業科目等の概要

（商業実務専門課程鉄道科）平成 27 年度											
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			鉄道車両Ⅳ（気動車）	鉄道車両（気動車）の仕組み（気動車全般、動力伝達からブレーキ装置）を習得	2 前	24	1	○		
○			鉄道車両Ⅴ（気動車）	鉄道車両（気動車）の仕組み、配線図を使用して気動車の概要を習得	2 前	24	1	○		
○			サービス接遇検定対策	サービス接遇検定試験合格を目指す	2 前	24	1	○		
○			就職対策講座	就職活動の流れを知り、自己分析を行い、就職できる力をつける	2 前	24	1	○		
○			面接対策	就職試験における面接試験に合格できる力を習得する	2 前	24	1	△	○	
○			プレゼンテーション	自己表現を通して、自分の意見や物事の意図を相手に伝える技術を習得する	2 前	24	1	○		
○			第 2 外国語（中国語/韓国語）	中国語または韓国語の会話能力を習得	2 通	48	2	△	○	
○			コンピューター	Excel 及び Word の基本操作を習得する	2 通	48	2		○	
○			LHR	学校生活における調和と自己啓発を図る	2 通	48	2		○	

授業科目等の概要

（商業実務専門課程鉄道科）平成 27 年度											
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			就職筆記対策Ⅰ	就職試験における筆記試験に合格できる力を習得する	2 前	24	1	○		
○			就職筆記対策Ⅱ	就職試験における筆記試験に合格できる力を習得する	2 前	24	1	○		
○			手話	聴覚障害者の生活及び関連する福祉施設等についての理解と認識を深めるとともに、手話で日常会話を行うに必要な手話語彙及び手話表現技術を習得する。	2 通	48	2	△	○	
○			ペン字	書検を通して書式を学び、美しい文字を書くためのポイントを習得	2 前	24	1	△	○	
○			鉄道業界研究	鉄道会社への就職を目標とし、鉄道業界の実態を知る	2 前	24	1	○		
○			就職実践セミナー	筆記対策・面接対策を復習し、就職できる力をさらに高める。	2 前	16	1	△	○	
○			鉄道駅実務	駅係員の業務知識と接客について習得する	2 前	24	1	○		
○			鉄道業界就業前教育	鉄道業界での仕事の流れや社内での調和について習得する	2 後	24	1	○		
○			鉄道概論Ⅳ	ダイヤグラムを使用して乗務員及び車両運用を習得する	2 後	24	1	○		

授業科目等の概要

（商業実務専門課程鉄道科）平成 27 年度											
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			鉄道実務	各職種の鉄道事故に対しての対応能力を習得	2後	24	1	○		
○			コミュニケーション学	コミュニケーションの大切さを学び、話す力と聞く力を身につける	2後	24	1	○		
○			鉄道旅行プランニング	時刻表を使用して日本各地への企画能力を習得する。	2後	24	1	○	△	
○			接客英語	接客時の英語表現を身につけ、会話能力を習得	2後	24	1	○		
○			行事Ⅲ	行事によって調和と自己啓発を図る （ボウリング大会、就職強化セミナー1・2、最終模擬面接、スポーツデー、業界見学３）	1前	36	1	△	△	○
○			企業実習Ⅰ	鉄道会社の現場で 5 日間の実習を行い、講義で習得した知識を現場で確認をして技術向上を図り業界への理解を深める。	2前	36	1			○
○			企業実習Ⅱ	鉄道会社の現場で 5 日間の実習を行い、講義で習得した知識を現場で確認をして技術向上を図り業界への理解を深める。	2前	36	1			○
○			行事Ⅳ	行事によって調和と自己啓発を図る （適性検査２、鉄道業界セミナー、就職模擬試験、鉄道旅行プランニング実習、スピーチコンテスト、ボウリング大会）	2後	36	1	△	△	○
合計				62 科目	1928 単位時間(78 単位)					

卒業要件及び履修方法
卒業要件：69 単位 学生の単位取得不可を予め見込んで、規定単位に若干の単位を上乗せすることで総単位を増やした。